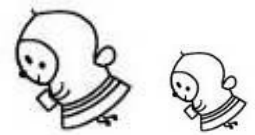




信長サミット開催！甲冑をついにお披露目！

## 愛知文教大学 日本文化の保護・伝承に一役



愛知文教大学(所在地:愛知県小牧市 学長:坂田新)は、9月5日・6日に小牧市にて開催された信長サミットへの協力・参加をいたしました。今回、サミットに協力するにあたり「**甲冑制作プロジェクト**」を**発足**。学生たちが専門家の指導の下、60日間かけて7体の甲冑を製作し、オープニングセレモニーで披露いたしました。

こうしたサミットへの協力には、**本学が小牧市から、市の文化財の調査・保存や啓発事業についての委託を受けている背景があります。**今までも本学は、市内所在古文書の調査・整理や古文書入門講座・歴史観光ボランティアガイド養成講座などの様々な取り組みで地元の文化に貢献してまいりました。また、**制作した甲冑は、10月11日(日)に行われます愛知文教大学の大学祭「愛文祭」にて、再び登場する予定です。**今後も同校では学業のみならず、日本文化の保護・伝承や地域貢献に繋がる取り組みを学生たちと一緒に積極的に行ってまいります。

### 信長サミットの模様

信長サミット当日、プロジェクトに加わっていた日本文化顧問 村林正美学部長をはじめとした教員と学生たちの16人が参加。サミットに来賓する要人警護パフォーマンスのため、信長が居城とした小牧城の跡地「小牧山史跡公園」を巡回しました。学生たちは自分の手で作り上げた甲冑を着込み、槍や刀を振りかざし、日本文化をより身近に感じていました。

オープニングセレモニーでは、大将の掛け声で、鉄砲隊が空砲を鳴らすと、足軽隊とともに甲冑隊が広場に突入。信長サミットの開幕を、盛大に演出しました。

セレモニーの後には、史跡公園を出て、市街地を闊歩し、地元のお祭りに参加。祭りを通じて、地元の方々と触れ合い、学生らの地元への愛着が強まりました。



## 愛知文教大学が小牧市の文化保全

愛知文教大学は、小牧市から委託を受けて同市の文化事業に協力しています。それは本学が日本文化を深く学ぶことのできる国際文化学部(来年度より人文学部に変更)を有しており、日本の歴史・文学にかかわる専門教員が所属しているためです。受託窓口となっているのは、本学の増田孝副学長と榎英一教授となっています。

今回の第23回織田信長サミットに関連したイベントとして、小牧市教育委員会の主催のもと、今年1年間、信長関連の歴史講演会を毎月開催、また「広報こまき」にも信長を紹介する記事を連載中です。これらの事業において、本学が講師や執筆者の選定や依頼、当日の運営・指揮をしていきます。今後も本学は市内の古文書の調査・整理に加え、様々な講座を設け、地元の方々に古文書に触れていただく機会に貢献してまいります。



増田孝 副学長

- ・愛知文教大学副学長
- ・愛知文教大学地域文化研究センター長
- ・研究分野：日本史学、古筆学
- ・テレビ出演：開運！なんでも鑑定団（テレビ東京系列）



榎英一 教授

- ・研究分野：日本史学、博物館学
- ・名古屋市博物館、宇治市源氏物語ミュージアム、立命館大学国際平和ミュージアム等の学芸員を歴任

## 大学祭にも甲冑が登場！【取材対応可】

愛知文教大学では、10月11日(日)に大学祭「愛文祭」が行われます。地域密着型の大学を目指す同校の「愛文祭」は、「地域のお祭り」をコンセプトに開催され、地元の小牧市や隣接する春日井市からの地域住民の皆様が多く来場します。そして、今回の愛文祭では、実際に学生が60日間かけて作り上げた甲冑が登場します。

### 愛文祭について

- 日時：10月11日(日)11:00～19:00
- 場所：愛知文教大学キャンパス全域
- 概要：甲冑試着体験・アニメカフェなど



愛文祭の様子

### 【愛知文教大学データ】

- 学部：国際文化学部(外国語専攻／日本文化専攻)※2009年8月現在
- 大学院：国際文化研究科(博士前期・後期課程)
- 学長：坂田 新
- 設立：1998年
- 所在地：愛知県小牧市大草年上坂5969-3
- 学生数：約360名(外国人留学生の数：150)



### — 本件に関するご取材等のお問い合わせ先 —

愛知文教大学PR事務局(株式会社プラチナム内)  
〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1-18F

TEL:03-5572-6073 FAX:03-5572-6075 E-mail:k-watabe@vectorinc.co.jp  
担当:渡部(わたべ)・松永・與芝(よしば)